

南仏治安情報（5月分）

● テロ、反社会的活動、大規模デモ（邦人被害なし）

（1）トゥールーズ発生、「メラ事件」実姉の失踪事案

23日、内務相はモハメッド・メラ（注：2012年3月発生「メラ事件」の犯人）の姉がトゥールーズから姿を消し、現在シリアにいるであろう旨述べた。内相の説明によると、この姉は9日にバルセロナ発イスタンブール行航空機に搭乗したことが確認されており、その後イスタンブール発ガズィアンテップ（トルコ南東の都市）行航空機に乗ったがその後行方が分からなくなった由。この姉は、メラ以上に危険な人物として当局にマークされており、聖戦に参加するため既にシリア入りしている夫の下に向かったとみられている。パリ検察庁テロ対策部はテロ活動に関連する犯罪結社容疑で同女の予審を開始した。

（2）マルセイユにおける、テロ事件被疑者の逮捕

30日昼頃、1区内の長距離バスターミナルで税関職員が抜き打ち検査を実施したところ、アムステルダム発のバスに乗っていた男の所持品からピストルやカラシニコフ銃などが発見された。また、他の所持品からこの男が24日にブリュッセルで発生したユダヤ博物館テロ殺傷事件の犯人であることが判明した。この男がマルセイユでさらなるテロを企てていたのか出身国アルジェリアに逃亡しようとしていたのかについては不明。

● 殺人（邦人被害なし）

（1）BDR県セプテム・レ・ヴァロン発生、殺人事件

1日朝方、マルセイユ北部と隣接するセプテム・レ・ヴァロンにおいて殺人事件が発生した。被害者は薬物犯歴のある22歳男性で、車の運転席で頭部を弾丸2発で撃ち抜かれた状態で発見された。

（2）マルセイユ発生、対立抗争と見られる殺人未遂事件

4日、14区 Saint-Barthelemy で対立抗争とみられるカラシニコフ使用の事件が発生した。被害者の30歳男性は車を運転中に別の車に乗った男達に銃撃されたが、殺されることなく逃げおおせることができた。被害者は後に病院に搬送された。

（3）ニース発生、モナコ資産家を狙った殺人事件

6日夜、息子の見舞いを終えたモナコの資産家女性が車で病院を出たところ、突然目の前に現れた若者2名に銃撃され運転手とともに重傷を負った。

数日後、運転手も女性も病院で息を引き取った。当初は「ターゲットは運転手」説も浮上していたが、後に同運転手が長らく駐車場内で待機していたことが判明したことから、この説は消滅した。以後、本件は一族内の争いが原因と見て水面下で捜査が進められ、6月下旬に被害者の娘夫婦や実行犯とみられるマルセイユ居住のコモロ人を含む23名が逮捕された。

（4）コルシカ島アジャクシオ発生、殺人事件

30日の昼前、ナポレオン通り上で同地在住のポーランド人男性が何者かにナイフで腹部を刺される事件が発生した。男性は搬送先の病院で亡くなった。これでコ

ルシカ島における殺人事件は今年に入って8件となった。

● 強盗（邦人被害なし）

(1) BDR県ヴィトロール市発生、ホールドアップ事件

14日午後、ルイス・パスター通り上を車で走行中の50代男性が、猟銃を持った男の要求で車を停止させた。犯人は男性に車から降りるよう指示し自分が運転席に乗り込み、その後猟銃で男性の腹部を撃って車ごと逃走した。

(2) マルセイユ発生、インターネットを悪用した強盗事件

13区に居住の54歳男性が不要になった整理ダンスを売却すべく、インターネット上の個人間取引サイト Le Bon Coin に掲載したところ、買い取りを希望する者が現れた。しかし、待ち合わせた14日に男性宅に現れたのは買い手を装った覆面4人組で、被害者を縛り上げその場にあった火掻き棒で脛を強打する等して、被害者が気を失うまで脅しつけて現金の在処を問い詰めた。結局犯人らは少額の現金を見つけて逃走した。

(3) BDR県オーバーニュ発生、ホールドアップ事件

16日、Paluds にある商業施設敷地内で3名の男がカードライバーに銃口を向けて脅しつけ金品を奪う事件が発生した。周辺では数ヶ月前から同種事案が頻発していたが、この日は警察がすぐに現場に急行し、犯人らの乗った車を追跡した末、マルセイユ11区のシテ Nereides 内に逃げ込んだところを逮捕した。

なお、警察が犯人らの車の中を検索した結果、本件犯行に使われた自動小銃がレプリカであることが判明した。

(4) ヴォークリューズ県マザン発生、侵入強盗事件

16日夜、カルパントラでタバコ店を営む男性が一人で自宅に帰ってきたところ、突如現れた男2名が自宅に押し入り、男性の頭部を殴り縛りつけた。犯人らは男性の所持金品を奪い、男性をベッドにくくりつけた状態で逃走した。男性は翌朝、叫び声を聞きつけた隣人によって助け出された。

(5) マルセイユ発生、自動車強盗事件

2人組の男が9区カンロン通りの民家を訪れ、顔を覆った状態で門戸を叩き、玄関ドアを開けた26歳男性を脅しつけて車の鍵を奪い、駐車してあった同男性の車に乗って逃走した。

(6) エクサン・プロヴァンス発生、侵入強盗事件

21日深夜、2人組の男が老夫婦の暮らす民家の玄関ドアを叩き、来客と勘違いしてドアを開けた老男性の頭部をイミテーションの銃で殴りつけて中に押し入った。男らは家の中の物色を始めたが、被害者男性は負傷しながらも台所にあるナイフを手にし、犯人らを追い払った。

(7) マルセイユ発生、パン屋を狙った強盗未遂事件

27日午前中、1区ジャン・ロック通りにあるパン屋に20代の男2名が押し入り、ナイフで店員を脅しレジ内の現金を奪おうとした。しかし、店員がこれを拒否すると諦めて逃走し、その後目撃情報を元に警察に逮捕された。

● 誘拐・立て籠もり

(1) ガール県バニョル・シュル・セズ発生、誘拐事件

21日夕方、12歳の少年が一人で路上を歩いていたところ、後ろからやって来た車が少年の脇に停まり、降りてきた運転手によって車内に強引に引きずり込まれた。犯人はそのまま車を走らせたが、少年は30分後誘拐現場から10kmの地点で車から脱出することに成功した。警察は犯人のモンタージュ写真を作成し付近住民に注意を呼びかけるとともに捜査を進めている。

● 傷害（邦人被害なし）

(1) マルセイユ発生、窃盗・公務執行妨害及び傷害事件

6日夜、8区ミシュレ通り上で、盗んだスクーターに乗った22歳の男が警察の検問を突破し、その際警官2名を轢いて重傷を負わせた。この男は仮釈放中の身であり、警官一人にぶつかった後すぐ立ち去ろうとせず、さらにもう1名を轢いている。男は最終的に他の警察官に取り押さえられた。

(2) ヴォークリューズ県カルパントラ発生、銃撃戦発生による傷害事件

6日夜、プー・デュ・プランで銃撃戦が発生し、27歳の男が脚を撃たれ病院に搬送された。警察は本件を麻薬取引絡みの抗争と見て捜査を進めている。

(3) マルセイユ発生、一族間の揉め事に端を発する傷害事件

12日夜、1区カヌビエール近くの裏道で男性が小口径銃で胸部と顔を撃たれる事件が発生した。この男性は事件発生当時、アルジェリア系の男3名による喧嘩を仲裁しようとしていたもの。後に警察に自首してきた男に対する取り調べの結果、今回の事件の原因が一族間の揉め事であることが判明した。

(4) BDR県セプテム・レ・ヴァロン発生、重傷傷害事件

25日夕方、道路上で21歳男性が何者かに銃で複数回撃たれ、下顎部と下腹部を負傷し病院に緊急搬送された。警察は、本件犯行動機解明を含め犯人の追跡捜査を進めている。

(5) モンペリエ発生、スポーツイベント会場での傷害事件

29日夕方、Rives-du-Lez 公園内で開催されたスポーツイベントにおいて、大勢の観戦客内で喧嘩が起こり、その結果16歳少年がナイフで腹部を刺され重傷を負った。

(6) マルセイユ中心街における、傷害事件の多発

31日未明、マルセイユで3件の傷害事件が発生した。1件目の被害者は2区ジョリエット地区で脚を銃で撃たれた男性、2件目は8区プラド通りで腕と腹をナイフで刺された男性、3件目は8区ビーチ沿いの道路で腹部に火炎瓶のような物を投げつけられた男性で、いずれの事件についても警察が犯人逮捕に向けた捜査を続けている。

● 薬物関連

(1) エロー県ベゼイエにおける、麻薬密売人の逮捕

20日未明、司法警察はスペイン国境周辺で高速道路で麻薬を運搬する密売人の

取締りを実施した。その結果、密売人が乗っているとみられる車2台を高速出口で停止させ職務質問を開始し、マリファナ4kgと売上金3,500ユーロを発見・押収の上、5名を逮捕した。

(2) ニースにおける、大麻密売人の逮捕

26日、ニースの下町エリアで9名の大麻密売人が逮捕された。逮捕現場では大麻樹脂120kgと武器が押収された。

(3) アヴィニョンにおける、麻薬密売少年の検挙

25日の深夜、パトロール中の警官が街中を徘徊していた14歳の少年を見つけたところ、少年は持っていたバッグをその場に投げ捨てた。不審に思った警官がバッグの中を確認した結果、中から大麻草4袋、大麻樹脂2本、コカイン4錠を発見したことから少年の身柄を確保した。取り調べに対し少年は、1ヶ月半ほど前から薬物の転売を行ってきたと供述した。

(4) ニース・マルセイユ等を結ぶ、コカイン密輸ルートの壊滅

5月末に明らかになった警察情報によると、ニース司法警察がこのほどパリ、マルセイユ、ニースと中南米を結ぶコカイン密輸ルート及び密売人組織を解明し同取締りを行い、88kgのコカインを押収し11名を拘禁する大捕物となった由。

● その他特異事件（邦人被害なし）

(1) マルセイユ発生、資産家殺害事件に便乗した恐喝未遂事件

6日にニースで発生したモナコ資産家女性銃撃（後に死亡）事件につき、15日、警察は同遺族に対して「犯人の情報を教える」と持ち掛け1,000万ユーロを要求していたマルセイユ居住の男を恐喝未遂容疑で逮捕した。6月に行われた裁判の結果、同人に懲役15ヶ月の実刑判決が言い渡されたが、結局同人が本件で被害者に持ちかけた「殺人犯情報」については、何の確証もないものであったことが判明した。

(2) アヴィニョン発生、侵入窃盗未遂事件

15日未明、男性が中心街にある自宅アパートで寝ていたところ、物音がしたので目を覚ますと、室内の暗がりの中に携帯電話の明かりが灯っており、少年2名が室内を物色していた。男性が驚いて大声を上げると少年らは慌てて逃げ出した。

それから程なくして、この少年らは別の場所で窃盗行為に及んでいるところを警察に確保された。

(3) ヴォークリューズ県カルパントラ発生、車上狙い未遂事件

16日深夜、路上にキャンピング用トレーラー付の自動車を駐めていた所有者男性が車に戻ったところ、トレーラー内に見知らぬ男1名がいたことから驚いて警察に通報した。この男はトレーラー内から金目の物を盗もうとして内部に侵入したものの、扉の開け方が分からず車内に閉じ込められていたとのこと。

(4) アヴィニョン発生、自動車放火事件（被疑者の検挙）

18日の朝方、警察は2件の放火容疑で17歳少年の身柄を一時拘束した。本件は、Trillade通り及びNoel-Hermitte通り上に駐車してあった車に火を放った事件であり、警察が犯人特定のための捜査を進めていた。

(5) ヴォークリューズ県アパート発生、侵入窃盗事件

22日、計略による侵入窃盗被害が発生した。本件は、被害者女性が自宅アパートにいたところ呼び鈴が鳴り、通話口の男に「駐車場でお宅の車にぶつかってしまった」と言われたため、女性が疑いもせず玄関の鍵を掛けずに屋外に出ってしまった隙を狙って発生したもので、数分後、自家用車に異常がないことを確認した女性が自宅に戻った時には、部屋の中にあった財布や宝石類を既に盗まれていた。

(6) サロン・ド・プロヴァンス発生、幼児に対する毒物投与事件（判決）

2012年9月に託児所の女が幼児に毒物を投与する事件が発生したところ、29日、本件につき裁判所が被告に懲役6ヶ月の執行猶予付判決を下した。本事件は、当時被告が自宅で預かっていた生後6ヶ月と9ヶ月の乳幼児2名に毒性のある錠剤の欠片を与えたもので、迎えに来た母親が息子の異変に気づき病院に掛かったことで毒物投与事実が発覚したものの。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報を基にまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。